

平成20年度 川崎市特別養護老人ホームこだなかの管理運営に対する評価について

1 指定管理者

(1) 指定管理者	社会福祉法人 くぬぎざか福祉会(川崎市宮前区野川1413番地)
(2) 指定期間	平成18年4月1日～平成23年3月31日
(3) 業務の範囲	ア 特別養護老人ホーム事業 定員:50人 イ 短期入所生活事業 定員:2人 ウ 通所介護事業 定員:30人/日 エ 居宅介護支援事業 オ 老人介護支援センター(地域包括支援センターの業務の一部として実施)

2 管理運営(事業執行)に対する評価

評価項目	20年度管理運営の状況	評価及び指導
(1) 管理業務の実施状況		
① 施設・設備の維持・管理に関する業務	<p>建物、設備の管理業務を専門業者に委託しており、適切に建物、設備の維持・管理に努めた。 開設依頼15年を迎え、設備の部品劣化によって、空調機関連の改修工事を2ヶ所行った。</p> <p>【委託業務の内容】 清掃業務、夜間警備業務、ボイラー点検業務、エレベータ設備、空調設備点検業務、電気設備保守業務、消防設備保守点検業務、自動ドア保守業務、調理業務、リネン交換業務、オムツリース業務、一般廃棄物処理業務 ほか</p>	<p>施設・設備の維持管理については、外部委託等を利用することで、適正に行っていることが評価できる。 施設も15年を経過しており、今後、設備面等における不具合が発生していくことが十分に考えられる。 そのため、不具合の発生を最小限に抑えるには、効率的かつ効果的な施設・設備の管理を行うことが重要であること、および実際に不具合が発生した場合には、早急に対応するよう指導していく。</p>
② 介護サービス提供への取組み	<p>個別援助を基本に、利用者一人ひとりに合った介護方法を検討し、心のケアにも留意しながら安全かつ安心できる生活の提供に努めた。生活に溶け込んだ機能訓練を実施し、現存機能の維持、向上に努めた。</p> <p>食事については、施設の方針である和の食事、適温適食を基本に提供するとともに、利用者の嗜好調査を実施し、利用者に応じた食事形態を検討するとともに、味だけではなく見る楽しみにも配慮した。 利用者の健康状態を日々把握し、家族や主治医と連携を図りながら、利用者・家族が安心して生活が送れるように努めた。 感染症対策については、医師・看護師を中心に対応策を検討するとともに、職員に周知徹底を図った。</p>	<p>高齢者施設では、利用者の尊厳を尊重し、利用者が生きがいを感じられるような質の高い個別的なケアを実践することが求められているため、今後においても、より一層利用者個々の状況に応じた対応やサービス向上に向けた取組みを行うよう指導していく。</p>
③ 利用者の安全管理	<p>事故や災害の発生時に備えて施設内マニュアルを作成し、遵守するとともに、連絡体制の整備を確保している。 また、防災訓練については3か月毎に実施しており、必要に応じて所轄消防署立会いを依頼し、訓練を実施した。 事故防止については、事故やヒヤリハットの原因を検討するとともに、目配り、気配り、声かけ等によって再発防止をはかる旨、職員間で検討を行った。</p>	<p>事故の発生防止に努めるため、日頃から職員間の連携体制の確立に努めるとともに、実際に事故が発生した場合には、迅速に行動するよう指導していく。</p>

評価項目	20年度管理運営の状況	評価及び指導																																																																																
④ 職員教育、研修の状況	<p>本来は、介護技術及び利用者サービスの向上を目的に参加を奨励しているが、人員不足に伴い、日常業務の安全で円滑な遂行を優先したため、研修への参加を見合わせた。</p> <p>その代替として、通常の業務中の打合せ等を通じて、実践的に業務改善や技術向上に努めた。</p>	<p>人員不足により研修を見合わせているが、利用者の処遇向上を進めていくためには、職員の知識向上への取り組みが施設等の運営に不可欠であることから積極的に研修を行うなど、職員の教育に力を入れるよう指導していく。</p>																																																																																
(2) 事業実績																																																																																		
① 利用状況について	<p>ア 特別養護老人ホーム 入所定員:50人</p> <p>介護度別利用者数(平成21年3月末現在)</p> <table border="1"> <tr> <td>要介護1</td> <td>要介護2</td> <td>要介護3</td> <td>要介護4</td> </tr> <tr> <td>2人</td> <td>8人</td> <td>19人</td> <td>13人</td> </tr> <tr> <td>要介護5</td> <td>その他</td> <td>合計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6人</td> <td>0人</td> <td>48人</td> <td></td> </tr> </table> <p>定員に対する稼働率 96% (利用者数/定員数)</p> <p>イ 短期入所事業 入所定員:2人</p> <p>年間延べ利用者数 78人</p> <p>月別延べ利用者数(平成21年3月末現在)</p> <table border="1"> <tr> <td>4月</td> <td>5月</td> <td>6月</td> <td>7月</td> <td>8月</td> <td>9月</td> </tr> <tr> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>10月</td> <td>11月</td> <td>12月</td> <td>1月</td> <td>2月</td> <td>3月</td> </tr> <tr> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>11人</td> <td>9人</td> <td>32人</td> <td>26人</td> </tr> </table> <p>定員に対する稼働率 10.8% (延べ利用者数/延べ定員数)</p> <p>ウ 通所介護事業 通所定員:30人</p> <p>年間延べ利用者数 5,248人</p> <p>月別延べ利用者数(平成21年3月末現在)</p> <table border="1"> <tr> <td>4月</td> <td>5月</td> <td>6月</td> <td>7月</td> <td>8月</td> <td>9月</td> </tr> <tr> <td>451人</td> <td>459人</td> <td>432人</td> <td>479人</td> <td>425人</td> <td>462人</td> </tr> <tr> <td>10月</td> <td>11月</td> <td>12月</td> <td>1月</td> <td>2月</td> <td>3月</td> </tr> <tr> <td>462人</td> <td>392人</td> <td>409人</td> <td>416人</td> <td>413人</td> <td>448人</td> </tr> </table> <p>定員に対する稼働率 65% (延べ利用者数/延べ定員数)</p> <p>エ 居宅介護支援事業</p> <p>介護度別給付管理者数(平成21年3月分)</p> <table border="1"> <tr> <td>要介護1</td> <td>要介護2</td> <td>要介護3</td> <td>要介護4</td> </tr> <tr> <td>12人</td> <td>10人</td> <td>7人</td> <td>7人</td> </tr> <tr> <td>要介護5</td> <td>その他</td> <td>合計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1人</td> <td>0人</td> <td>37人</td> <td></td> </tr> </table> <p>オ 老人介護支援センター(地域包括支援センター)</p> <p>老人介護支援センターは、地域の老人の福祉に関する相談援助や市町村等との連絡調整、その他必要な援助を行うもので、従前は在宅介護支援センターとして活動をしてい</p>	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	2人	8人	19人	13人	要介護5	その他	合計		6人	0人	48人		4月	5月	6月	7月	8月	9月	0人	0人	0人	0人	0人	0人	10月	11月	12月	1月	2月	3月	0人	0人	11人	9人	32人	26人	4月	5月	6月	7月	8月	9月	451人	459人	432人	479人	425人	462人	10月	11月	12月	1月	2月	3月	462人	392人	409人	416人	413人	448人	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	12人	10人	7人	7人	要介護5	その他	合計		1人	0人	37人		<p>通所介護事業については、安定した利用実績となっているが、特別養護老人ホーム及び短期入所事業については、人員不足に伴う利用者の受入制限により稼働率が落ち込んでいたものの、人材派遣制度を利用し、直接介護職員の確保に努め、職員体制を整えたため、12月から利用者数が増え、短期入所の受け入れも再開したことは、評価できる。</p> <p>今後は、雇用の確保に努め、安定した稼働率を維持するよう指導していく。</p> <p>老人介護支援センターについては、別途委託をしている地域包括支援センターの業務の一部として実施されているものではあるが、地域住民にとっては、直接的な相談支援窓口となっており、必要性が高いため、更なる充実を図るよう指導していく。</p>
要介護1	要介護2	要介護3	要介護4																																																																															
2人	8人	19人	13人																																																																															
要介護5	その他	合計																																																																																
6人	0人	48人																																																																																
4月	5月	6月	7月	8月	9月																																																																													
0人	0人	0人	0人	0人	0人																																																																													
10月	11月	12月	1月	2月	3月																																																																													
0人	0人	11人	9人	32人	26人																																																																													
4月	5月	6月	7月	8月	9月																																																																													
451人	459人	432人	479人	425人	462人																																																																													
10月	11月	12月	1月	2月	3月																																																																													
462人	392人	409人	416人	413人	448人																																																																													
要介護1	要介護2	要介護3	要介護4																																																																															
12人	10人	7人	7人																																																																															
要介護5	その他	合計																																																																																
1人	0人	37人																																																																																

評価項目	20年度管理運営の状況	評価及び指導																														
	た。地域の相談支援窓口となることから指定管理者の業務の範囲としているものだが、平成18年4月からは、制度改革に伴い新たに創設された地域包括支援センターの業務の一部として、別途委託事業によって実施している。																															
② 行事の実施状況	ボランティアの受け入れを随時行い、年間を通じて多くの行事を開催している。また、地域交流も活発である。 【主な行事、活動】 花祭り、エレクトーン訪問、納涼祭、老人ホーム祭り、クリスマス会、ひな祭り、縫い物ボランティア、折り紙ボランティア など	ボランティアの受け入れを積極的に行うことで、地域交流を図るとともに、季節感のある行事を開催していることが大変評価できる。 今後においても、利用者の意見を反映する等、季節感のある行事を実施するよう指導していく。																														
(3) 収支状況																																
① 収支状況について	<p>ア 収入の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>特別養護老人ホーム</th> <th>短期入所事業</th> <th>通所介護事業</th> <th>居宅介護支援事業</th> <th>施設合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>134,525,426</td> <td>661,508</td> <td>39,913,735</td> <td>5,279,376</td> <td>180,380,045</td> </tr> </tbody> </table> <p>収入については、主に介護保険制度による介護報酬と利用者負担金を指定管理者の利用料金収入として収受した。 地域包括支援センターについては、指定管理者に対する委託事業ではないことから、ここでは計上していない。</p> <p>イ 支出の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>特別養護老人ホーム</th> <th>短期入所事業※</th> <th>通所介護事業</th> <th>居宅介護支援事業</th> <th>施設合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>179,583,366</td> <td>0</td> <td>22,318,699</td> <td>3,849,840</td> <td>205,751,905</td> </tr> </tbody> </table> <p>事業運営に必要な人件費・事務費・事業費として支出した。 ※ 利用者数を勘案し、特別養護老人ホーム事業と合わせて計上した。</p> <p>ウ 決算(収支差引)の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>特別養護老人ホーム</th> <th>短期入所事業</th> <th>通所介護事業</th> <th>居宅介護支援事業</th> <th>施設合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>-45,057,940</td> <td>661,508</td> <td>17,595,036</td> <td>1,429,536</td> <td>-25,371,860</td> </tr> </tbody> </table> <p>特別養護老人ホームについては、支出額が収入額を上回っている。また、施設合計についても、支出額が収入額を上回る結果となった。</p>	特別養護老人ホーム	短期入所事業	通所介護事業	居宅介護支援事業	施設合計	134,525,426	661,508	39,913,735	5,279,376	180,380,045	特別養護老人ホーム	短期入所事業※	通所介護事業	居宅介護支援事業	施設合計	179,583,366	0	22,318,699	3,849,840	205,751,905	特別養護老人ホーム	短期入所事業	通所介護事業	居宅介護支援事業	施設合計	-45,057,940	661,508	17,595,036	1,429,536	-25,371,860	<p>人員不足に伴う介護報酬の減算や利用者の受入制限によって、特別養護老人ホームについては、支出額が収入額を上回っている。 また、全体額としても支出額が収入額を上回る状態である。 今後においては、人員確保の徹底や処遇の改善に取り組むことで、収支状況の健全化に努め、安定した事業運営が図れるよう指導していく。</p>
特別養護老人ホーム	短期入所事業	通所介護事業	居宅介護支援事業	施設合計																												
134,525,426	661,508	39,913,735	5,279,376	180,380,045																												
特別養護老人ホーム	短期入所事業※	通所介護事業	居宅介護支援事業	施設合計																												
179,583,366	0	22,318,699	3,849,840	205,751,905																												
特別養護老人ホーム	短期入所事業	通所介護事業	居宅介護支援事業	施設合計																												
-45,057,940	661,508	17,595,036	1,429,536	-25,371,860																												
(4) その他																																
① 利用者からの意見・要望・苦情等への対応	利用者・家族からの意見・要望・苦情について、内容を全職員が共有し、改善に向けて迅速に対応している。 また、施設長や各部署の責任者を中心に、原因や対策を検討し、再発防止に努めた。また、意見箱を設置するなど、気兼ねなく意見を聴取できる環境を整備している。	利用者・家族から受けた意見・要望・苦情に対しては、迅速かつ適正な処対応を行うよう指導していく。																														
② 個人情報の保護	個人情報に関する誓約書を職員と締結するとともに、施設内においては、個人情報が第三者の目に触れないよう配慮している。 また、個人記録などは、施錠できる書庫にて保管しているとともに、全職員への徹底を指導している。	個人情報の取扱いは、施設全体での共通認識を図ることが大変重要であり、個人記録の保管等に確実な対処を行っている取組みは評価できる。 今後においても、個人情報の保護を徹底するよう指導していく。																														

3 管理運営(事業執行)に対する全体的な評価

評価項目	20年度管理運営の状況	評価及び指導
<p>昨年度に引き続き、人員不足に伴い特別養護老人ホームの入所者数の縮小、短期入所の受入停止などの影響から経営が不安定ではあったが、年度途中から人材派遣制度を利用したことによる介護職員の確保に努め、特別養護老人ホームの稼働率の向上、短期入所の受け入れ再開へとつなげていったことは、評価できる。しかしながら、支出が収入を上回る状況であるほか、職員の研修参加を見合わせるなど運営面に支障が生じている状況となっている。</p>		

4 平成20年度の管理運営(事業執行)に対する指導事項等

<p>施設も15年目となるので、設備関係等の不具合発生時には迅速に対応していくと同時に、適正な施設の維持・管理に努めるよう指導していく。</p> <p>現在の介護報酬制度上、一般的に現在の定員数では採算が取りにくい小規模施設ではあるが、今後は人材確保に努めるとともに、処遇改善を行うことで、各事業の稼働率を上昇させることにつなげ、収支の改善に努力するよう指導していく。</p> <p>また、研修の受講などによって、サービスの質の改善や職員の介護技術の向上も積極的におこなっていくよう指導していく。</p> <p>人員不足により事業に大きな支障が生じたことは否めないが、人材の確保に努め、昨年度よりは状況が改善された。今後も引き続き、人材確保に努めるとともに、職員の質の向上にも努めていくよう指導・監督を進めていく。</p>
